



# 伊江島 広報

No.377

平成23年 4月号

# ふ ハッチャー

## 伊江中63期生63名が巣立つ



### キラキラ輝く夢咲へ自信と希望を明日への風のにのせ さあ僕らの夢を咲かせに行こう by 卒業生

伊江中学校の第六十三回卒業式が十三日開かれ、前田孝実校長から卒業生六十三人に卒業証書が授与されました。

「夢咲（みらい）」をテーマに掲げた式典では、大城勝正村長、亀里敏郎村議会議員ら多くの来賓や父母が出席し卒業生の門出を祝いました。

来賓祝辞で大城村長は「離島が故に十五歳で立ち立ちとなりますが、皆さんに逆境が訪れても島で培った自信と絆は、必ずや自らの支えとなるでしょう。向上心とチャレンジ精神で、それぞれの夢に向かい、さらなる活躍を期待しています。」と激励しました。

卒業生を代表して島袋峻也君は「誇りある母校で学んできた事を忘れずに、帰省の機会には人間として大きくなった私たちを見せたい。島を離れての新たな新

生活を精一杯頑張っていきます。」と涙を流しながら答辞の言葉を述べると、出席者の中にも涙ぐむ姿が見受けられました。式終了後、恩師、在校生、保護者らが花道を作り、島の花弁農家から寄贈された菊の花弁が舞い散る中、学び舎を後にしました。

村の世帯数と人口の比較(3月31日現在)

	昭和46年 (40年前)	平成3年 (20年前)	平成23年	先月比	3 月の 出生 児数
	世帯数	1,452	1,844	2,211	
総人口	6,281	5,564	4,840	△70	2
男	3,029	2,763	2,462	△25	1
女	3,252	2,801	2,378	△45	1



## 1. はじめに



平成23年3月定例議会の開会にあたり、村民皆様並びに議員各位のご健勝を心からお喜び申し上げますと共に、日頃のご精励に対し深く敬意と感謝を申し上げます。

今議会は、平成23年度の村政運営の基本となる予算案や多くの重要案件についてご審議をお願いするものであります。議案の審議に先立ち、平成23年度の村政運営にあたって私の所信の一端を申し上げます、議員各位並びに村民皆様のご理解とご協力を賜り、活気に満ちた村づくりに邁進したいと存じます。

時の経つのは早いもので、私が平成21年4月に村民皆様のご支援とご協力を賜り、2

期目の負託を得てから3年目を迎えることになりました。その間、職員共々幾多の苦難も克服しながら村民の豊かさを追求して参りましたが、これからもひるむことなく村民の声に耳を傾けながら前向きに歩むことを決意すると共に、村民皆様の尚一層のご協力とご支援をいただきながら、我が村が躍動発展する年にしていきたいと思っております。

さて、平成22年度も世界的に政治、経済、災害、環境問題等で揺れ動いた年であり、特にリーマンショック以降の世界経済、日本経済も浮き沈みの状況から少しずつ回復基調にあります。しかしながら企業倒産並びに企業の経営縮小により雇用の面では未だに厳しい状態にあります。国内においては安定した経済及び雇用拡大を図るべく対策を講じられていますが、急激な進展は得られない状況にあります。又、国の財政状態も厳しく、財政の健全化のための仕分け作業も続けられており地方自治体への支援も事業によっては縮小されるものもあります

し、雇用対策についてはハード及びソフト面について若干配慮がなされつつあります。

しかしながら、国・県の財政状態も厳しい状況にあり、私たちは常に国・県の動向を見極め、村財政の状態も踏まえながら村民の暮らしと豊かさを追求する村政運営をしなければなりません。これまでも村民の皆様には若干の苦しい思いをさせたり、或いは耐え忍んでいただきましたが、これからも同様な情勢はあり得るものと想定し、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

政治と経済の安定は、国家・国民の生活を大きく左右する





原動力となるといわれておりま  
す。我が国も民主党・国民新党  
を中心とする連立政権から約2  
年目の歳月を迎える今日、内閣  
も鳩山内閣から菅内閣に変わ  
り、雇用の拡大並びに経済の安  
定に趣を置かれると同時に、世  
界平和のための日本の存在が世  
界的に判断評価されている現状  
であります。

このような情勢にあつて、  
我が国は普天間飛行場の早期  
移設や中国漁船の領海侵犯、  
北方諸島へのロシア大統領の  
訪問、北朝鮮の拉致、核、ミ  
サイルなどの諸懸案が包括的  
に、早期解決を図らなければ  
ならない多くの課題が山積し

ており、この23年度で解決さ  
れて世界平和の構築に繋がれ  
ばと願っております。

県内並びに村内においては、  
昨年は第3次沖繩振興計画が  
平成23年度で終了するに伴う  
次期振興計画の樹立と普天間  
飛行場の移設及び雇用拡大等  
を焦点とする県知事選挙が実  
施されると共に多くの市町村  
で統一議員選挙が実施され、  
本村においても議員選挙が行  
われ村民の洗礼を受けた新人  
2名と現職8名の皆様が任期  
中、村民の負託にお応えする  
ため村政運営に頑張つて行く  
決意をなされています。

又、何時の時代でも生れ故郷  
に思いを寄せ頑張っている郷友  
の皆様との交流が一番肝要なこ  
とであります。そのことから昨  
年は伊江島を出られ、異郷の地  
で懸命に頑張つておられる  
「関東伊江島城会」の創立20周  
年を記念して「伊江島の村踊  
り」関東公演を催しましたが、  
郷友の皆様が感銘と感動を与  
え、絆を深め、好評を博した公  
演でありました。

その他、本村の「健康で明る  
く豊かな活力ある村づくり」

を目指し、各課の職務で懸命な  
熱意と努力をもって推進してま  
いりました諸事業も着実に進展  
しており村民の皆様と共に喜ん  
でいる次第であります。

さて、平成23年度はさらに  
飛躍する年と位置付け、これ  
まで温めてきた諸事業の完成  
を見ることとなります。先ず、  
酒製造のなかつたこの島で、  
さとうきびを活用したラム酒  
工場の完成に伴うお披露目式  
の開催、黒糖工場の完成、旧  
軍飛行場用地地主会の協力と  
国・県の支援による新造カー  
フェリーの就航、花卉振興の  
花口ポ施設の完成等、多くの  
祝賀を予定しております。又、  
村民の要請にお応えすべく、  
産業・教育文化・医療福祉・  
健康づくり・スポーツの振  
興・環境整備等各方面にわたり、  
第4次総合計画を基本として  
「村民が住み易く、豊かで誇れ  
る島」づくりに村民の皆様、  
議員各位並びに各団体のご支  
援とご協力を賜りながら誠心  
誠意村政を進めてまいりる所存  
でありますのでご指導・ご示  
唆をお願い申し上げます。

## 2. 基本的な考え方

リーマンショック以降、国  
内外の政治経済は不安定な要  
素を帯び中国を除けば企業の  
縮小による雇用の減少が続き  
失業者が増えている傾向にあ  
ります。我が国においても、  
財政の健全化を図り安定した  
経済のもと雇用拡大を目指し  
「コンクリートから人へ」と  
政策方針が転換され、事業仕  
分けと独立法人の見直し等が  
実施されると同時に雇用拡大  
と経済の上向きに、諸施策が  
講じられているが急激な変化  
は期待できず、にわかに消費  
税の見直しが言及されつつあ  
る現状にあります。

このような国・県の厳しい  
財政事情のおり地方自治体に  
おける財政状況も厳しく、住  
民サービスにも少なからず影  
響を及ぼしております。特に  
本村のような自主財源に乏し  
く国・県からの依存財源に頼  
っている自治体は国・県の動  
向を充分見極めながら村政を  
推進しなければなりません。  
そのためには例年のとおり



「受益者負担の原則」及び  
「負担の公平性」には一層の  
ご理解を賜り村の発展にご支  
援とご協力をお願いするもの  
であります。

さて、平成23年度からスタ  
トする第4次伊江村総合計画  
(案)の、基本構想(案)基本計画  
(案)の趣旨に基づき「互いに  
支えあい、誇りを持って、豊か  
な気持ちで暮らし続けられる  
村」を目指し、村民の参画と  
協働のもとに躍進・発展する伊  
江村づくりに「最少の経費で最  
大の効果」を上げ邁進するよう  
次の項目を中心に全職員共々誠  
心誠意を尽くし村政運営に当つ  
てまいります。



(1) 「豊かで活力に満ちた潤いのある村」を目指し、農林水産業、商工観光業、製造加工業の振興を図り雇用拡大に努めます。

(2) 「生れ育った故郷に誇りを持ち心豊かな村」を目指し、人材育成と教育文化の振興に努めます。

(3) 「健康と安らぎと思いやりの生活を支える村」を目指し、福祉の向上と医療保健の充実に努めます。

(4) 「美しい自然と住みよい環境の村」を目指し、環境を思いやる優しい心を養成し、自然を大切に花と緑にあふれ

た生活環境の整備に努めます。

(5) 「情報化社会の進展に伴い、情報機器の普及を図り村民の暮らしを支え安心安全な村」を目指し、情報化時代の伸展に努めます。

(6) 国営地下ダム建設の促進と県営・団体営かんがい排水事業とアマギ溜池の改修に努め水利用の活用と生産向上に努めます。

(7) 農地保全整備事業の継続推進と農地防風林の育成に努めます。

(8) 伊江港・本部港の整備促進と「フェリーいえしま」の代船建造に努めます。

(9) ラム酒工場の建設とさとうきび黒糖工場の建設を図り雇用機会の増大に努めます。

(10) 村内外で開催される諸大会並びに各団体等が開催するイベントの誘致を支援し、地域振興に努めます。

(11) 海兵隊伊江島支援分遣隊の移転協議に努めます。

(12) 第4次伊江村総合計画の策定に基づきその計画推進に努めます。

### 3. 主要施策

#### (1) 農林水産業の振興について

本村は第一次産業を主軸に、他産業との連携を高め戦後幾多の試練を克服しながら歩んで参りました。このことは、村民はじめ各団体の結束と研鑽によるものであります。しかしながら、近年、日本経済の厳しい状況の中、国は環太平洋連携協定（TPP）を締結する前提としてオーストラリアとの経済連携協定（EPA）の締結をする方向にあります。そのEPAが締結されると本県農業の主要作物である、さとうきび、パイン、畜産、酪農への影響は大きいものがあり憂慮しているところでありあります。

この厳しさを克服して販路を拡大するには品質の高い農産物を作り、しかも「安心・安全」で生産者の顔が見える作物が消費者から望まれています。その要望に応えるには生産者並びに関係団体が一致協力し、アイデアと知恵を絞

り生産向上に努めることが必要だと思えます。

平成20年度から農地保全整備事業を進めているところですが、今後の安定した農業基盤を確立するためにも、永續性のある防風林等の整備が重要な課題であります。そのためにも、今年度に林業構造改善事業により防風林、緑化木等の生産育苗施設を設置し、農家へ苗木を供給することによって、村全体の防風林等の重要さの意識の向上につなげたいと思えます。

また、平成16年の製糖工場への閉鎖に伴い球陽製糖工場への搬入は、7年の年月を経ております。これまで、北部振興事業で取り組んで来ましたが黒糖工場が今年度で完成します。今後はJA沖縄と連携を密にし、雇用拡大と農業振興に努めます。

水産業については、水産資源の減少及び価格の下落、燃料の高騰等極めて厳しい状況が続いています。昨年度は、アイザメ漁の新漁法開拓漁具購入助成、並びにシャコガイ稚貝の購入助成、中層型浮漁

礁の設置事業等を導入し推進してきました。

今年度はサンゴの養殖、シヤコガイの養殖が出来るよう伊江漁協の事業を支援します。また、環境・生態系保全活動及び離島漁業再生支援交付金等を活用し、水産資源の回復が図れるよう努め、島の海の環境保全活動、漁業者の所得向上に向けた取り組みを行っていきます。

畜産業については、日本国内を震撼させた口蹄疫の防疫対策として、畜舎における消毒の実施、村外からの侵入防止対策として本部港、伊江港での消毒マットを設置し、徹





底した防疫対策に取り組んで来ました。また、5月セリ市中止による出荷遅滞牛に対する助成を実施しました。しかしながら、セリ価格の低迷により畜産経営に多大な影響を及ぼし、経営悪化が懸念される状況が続きましたが、今年の初セリにおいては昨年の価格より上昇し、農家の生産意欲も高まり今後の経営安定に繋がるものだと思います。昨年度は3年振りとなる県畜産共進会での団体優勝、伊江畜産青年部「島牛会」がふるさと百選の認定を受けております。また、優良繁殖雌牛更新事

業につきましては今年度も引き続き実施し、子牛価格の安定に和牛改良組合及び畜産農家とともに飼養管理技術等に研鑽を進め推進してまいります。堆肥センター建設につきましては、諸般の事情により完成が延びますが、24年度完成を目指し取り組んでいます。畜産農家の皆様には、「日本一の島牛づくり」にむけて更なるご協力をお願い致します。

### (2) 商工観光産業の振興について

本村の商業は、小規模の経営基盤が主体であります。地域経済の活性化と雇用拡大から極めて重要な産業であることは申し上げるまでもありません。近年は、商工会における商品券事業の活用による地域消費者の取り込みや、民家体験泊事業の推進は村内での消費の拡大に繋がっており、いくらかの改善が見られております。今年度は、沖縄観光の人気第2位であります「食べる観光」に着目し、商工会と連携して地域食材を活用した「当地グルメ」のメニュー開発を推進してまいります。観光産業の振興については、「夕日とロマンのフラワーアイランド」をキャッチフレーズにゆり祭り、ハイビスカス祭り、ブーゲンビレア品評会等のフラワーイベントの開催を推進しており、さらに、地域住民参加型、協働により家庭から地域そして公共施設へと花作りの輪を広げ、伊江島を「四季折々の花で来訪者を迎える島」に村民皆様と共に活動していきたいと考えております。



本村の観光は、伊江島一周マラソン、ゆり祭り、ハイビスカス祭り等のイベント型観光と民家体験泊事業に代表される修学旅行型観光が主体であり、増加傾向にあります。しかしながら、その他の個人、団体を対象にした観光客の減少が見られ、ホテル、民宿等の稼働率が落ちております。そこで、平成21年度で調査いたしました伊江村観光統計実態調査報告を踏まえて観光経済効果調査を実施し、現状把握を行い、効果的な観光振興の推進に取り組んでまいります。

### (3) 製造加工業の振興と雇用拡大について

製造加工は、菓子製造、黒砂糖製造等の小規模事業所が主体であり、村といたしまして地域資源を生かした加工品の開発販売促進を伊江島物産センターと連携して取り組み、紅芋の生産拡大を図っているところであります。また、本村の特産品であります落花生は、県内で名産として広く知られており、今日まで製造業の要をなしております。反面、作り手が少ない中で、村民より落花生の生産拡大の要望が大きく、今年度より生産を奨励し、落花生加工品の販売促進を図ります。

雇用においては、平成23年度に完成する黒糖工場での職員の増と、その黒糖を活用した商品開発による雇用の増加が期待されます。また、7月頃には、ラム酒の販売を開始いたしますので、村民皆様には、伊江島地酒としての御愛飲、そして商工会の皆様には、ラム酒を活用した商品開発も合わせてご協力をいただきましたと思います。

### (4) 教育文化と社会教育の振興について

学校教育の推進にあたって、小学校では、平成23年度、中学校においては24年度から新しい学習指導要領が完全実施となりますので、新たな教育課程を編成し、「生きる力」の育成を基盤とした教育実践の充実を図ります。学力向上対策については、学校教育の重要課題と位置付け、学校・家庭・地域・行政の連携を通して、「幼児・児童生徒一人ひとりに確かな学力などの生きる力を育む」を目標に子ども一人ひとりの教育

ニーズに応じた適切な学習支援を行うため、引き続き学習支援員を配置し学力向上対策に取り組みます。また、心性等による不登校児童生徒の適切な指導支援のため今年度から不登校対策支援教諭を配置し取り組んでいきます。

学校教育環境の整備では、子ども達が安心して学校生活を出発するよう今年度に西幼稚園・西小学校校舎建設を実施いたします。

また、今年度から幼稚園での給食実施と午後2時までの延長保育を実施します。幼稚園給食費につきましては、村



単独補助により、子ども支援及び保護者の教育費負担軽減を図ります。

文化の振興では、沖縄県の組踊が、「ユネスコ無形文化遺産代表一覧記載」されたことを記念し、その関連事業として沖縄県教育委員会から「忠臣蔵」の出演依頼があり、国の重要無形民俗文化財である伊江村の組踊の国立劇場公演に向けて、東江上区と連携し取り組んでいきます。

社会教育の振興では、15才で島を離れていく子ども達が、「生きる力」を育めるような、体験学習の機会を提供するために、各区と連携し地域全体で協力できるよう取り組んでいきます。

社会体育の振興では、「村民皆スポーツ」をスローガンに掲げ、特に中高年層の運動習慣化と生活習慣病予防対策を講じなければなりません。海洋センタートレーニング機器が整備されて利用者も増えておりますが、更に利用者を増やし健康増進志向を促進するため、総合型スポーツクラブの円滑な活動や新たな会員制

度を創設し、村民が気軽に楽しく活用できるよう取り組んでいきます。

### (5) 住民福祉の向上と医療保健の充実について

健康で安らぎのある思いやりの生活を支えることは、行政のみならず地域が協働の心を持ち共通認識のもと、一体となつて歩むことが住民の安全・安心な生活の確保に極めて重要なことでもあります。

国・県においては、いまだに回復が見られない経済情勢の悪化や、人口減少社会に伴う少子高齢化の急速な進展に伴い、福祉・医療年金等の社会保障制度の全般にわたる充実を図るべく、抜本的な改革が検討されております。村においても福祉の充実は重要であり、国・県の動向を十分に把握しながら福祉社会の構築に努めます。

住民が安心して暮らせる医療体制の充実、離島であるが故に我が村にとっては優先して取り組むべき重要な施策の一つであり、安定的な医師・看護師等の確保はその基



盤であります。さらには、医療機器の整備・充実を図りながら村民が安心して生活を営めるよう努めてまいります。医師等の労働環境が過重負担にならないよう村民のご理解とご協力が必要であります。

また、長年の懸案事項であります人工透析医療につきましては具体的な進展が図れるよう引き続き調査研究を行います。

村民福祉の向上と健康増進に向け、現在実施しております、インフルエンザ予防接種の無料化、幼児期・学童期における「フッ化物洗口」事業等を継続してまいります。又、

今年度は新たな少子化対策・子育て支援のさらなる充実に向け、出産祝い金の増額、乳幼児医療費助成の拡充に努めます。

村民の健康を守る国民健康保険会計は疾病の多様化・医療の高度化や高齢化への進展等により医療費が伸びており、保険財政は大変厳しい状況にあります。安定した財政を確保するには村民一人ひとりが健康管理に留意し、健康への意識づけに村内の各種団体とも連携して健康への関心を高め、疾病の早期発見、早期治療に努めてまいります。

特定健康診査・特定健康指導を実施し、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に重点を置き受診率を高め、保健指導により重大疾病を予防し、生活習慣を改善し健康増進による医療費の抑制を図り国民健康保険財政の健全化運営に努めます。

後期高齢者医療費制度や介護医療制度につきましては、誰もが住み慣れた地域で安心して支えあつて暮らせる村づくりを進めてまいります。高

齢者の増加等を踏まえ介護者の高齢化等が老後生活に不安要因となりますが沖縄県介護保険広域連合と連携を図りながら安定的に運営できるように取り組んでまいります。

(6) 生活環境の整備について

人と自然が調和共存する環境づくりを掲げ、防風林の植栽や街路樹としてハイビスカス等の花木を植える運動を積極的に展開してきました。

環境問題への取り組みとして、「ごみ減量化」を基本にダンボールの再利用を推進しながら、紙パックの再資源化、エコキャップ運動を展開すると共に、各区と協力し不法投棄の撤去作業や地域ボランティアによる海浜清掃、村婦人会を中心としたダンボールコンポストによる生ごみ減量運動、使用済み廃食油の回収、村内建設業者の奉仕作業により樹木の枝打ち・伐採を行うなど、島ぐるみで環境美化事業を展開しました。

それらの活動等により村民の環境保全に対する認識も高まり、各区や関係団体に改め

て敬意を表するものであります。しかし、その一方で、一部の村民により家庭ごみの不法投棄や空き缶類のポイ捨てなどがまだ見受けられることもあり、引き続き地域や各団体と連携をとりながら環境美化運動について強力な啓発活動を村民ぐるみで展開していきます。

さらに、海岸や砂浜の自然環境を保全することは大変重要な事であり、村民や子ども達が海に親しむ環境施策を進めることは観光産業の発展にも大きく寄与するものと考えます。

その具体的な対策として今後も引き続き合併処理浄化槽の普及促進を図りながら、さらに既存の雨水浸透池の管理徹底と、継続した浸透池の整備を推進してまいります。又、近年社会的問題となっている海岸漂着物対策についても各関係団体と連携を図りながら対応してまいります。

今後、地球温暖化に伴う環境破壊の問題を含め、村民一人ひとりが環境問題に対する意識啓発をしながら、循環

型社会形成に向けた環境対策を進め「ごみの減量化」を基本として、ごみの分別徹底、ダンボールの再利用、紙パックの再資源化やエコキャップ運動を地域や団体を網羅し児童生徒への環境教育を推進すると共にECセンターの健全運営を図り、「美しい自然と住みよい環境の村」を目指し努力します。

集落内の道路整備や農道補修については、緊急を要するもの並びに整備内容を十分に精査しながら、国の補助事業も導入し今後も継続して整備を進めてまいります。

村営団地は住宅に困窮する低所得者に対して安定的な生活住宅の供給を目的として、日頃から住居者と連携を取りながら快適な居住環境を創れるよう努力すると共に、健全な村営住宅の運営に努めます。

(7) 情報通信網の推進と利用について

国は、IT分野で進む急速な技術革新に対し「高度情報通信ネットワーク社会形成基本法（IT基本法）」を軸に、

世界最先端のIT国家の実現に向けて環境整備を行ってまいります。本村においては、急速に進展する情報通信技術（ICT）を活用したネットワーク化やデジタル化に対応すべく、平成18年度より総務省の「地域イントラネット基盤施設整備事業」の導入をはじめ、平成19年度「地域ICT利活用モデル構築事業」、平成21年度「ユビキタスタウン構想推進事業」を行い、公共施設26カ所を無線で結び、民泊事業の充実や高齢者福祉対策及び雇用促進、経済の活性化などを盛り込み取り組んできました。

平成22年度の「伊江村教育の情報化推進事業」において村内両小学校にタブレット型ノートパソコン及び授業支援ソフトを導入し、23年度からはIT指導員を配置し、ICT教育の推進に向けた事業を展開してまいります。

電子行政の推進においては国・県の主体的な取組みが進まず、十分な成果が得られていないのが現状であります。現行の実施状況を評価しつつ、

新たな戦略と目指すべき社会像を見据え、補助率の高い公募型事業を積極的に導入・提案すると共に、村の地域支援センター業務を行う伊江島通信事業所（イーコム）とタイアップし、ユビキタスネット社会に対応できるよう、個人における情報発信・情報共有が活発に行われ、安心で安全な利便性の高い社会の実現に向け取り組んでまいります。

(8) 基地行政について

普天間飛行場の移設問題については、鳩山前総理大臣が「最低でも県外移設」と強調し



ていたにもかかわらず、実現できなかったことが県民の期待を不信感に変えた大きな要因となつています。そこで昨年1月の名護市長選挙において、名護市辺野古の海にも陸にも基地を造らせない、移設に絶対反対を掲げる稲嶺市長が誕生しました。

また、11月の県知事選挙では仲井眞現職知事が、普天間飛行場の県外移設を訴えて再選を果たしました。このことは、県民の強い反発と拒否の意向を示したものと受け止めております。

政権が菅直人総理大臣に代わつても、日米両政府の合意に沿



った移設の実現は非常に厳しい状況ではありますが、提供地に補助飛行場がある本村にとつては早期に移設先が決定されることを強く望んでいます。移設先が論議される度に伊江島の名があがり、村民に動揺を与えていることを甚だ遺憾に思っている次第であります。これからも基地行政については社会情勢、村内の基地の動向も見据えながら村益を常に考慮し是々非々で対応してまいります。

国営地下ダム建設は順調に進捗しておりますが、海兵隊の伊江島分遣隊の移転についてはいまだに訓練場を管理する訓練作戦部(G5)との協議調整を沖縄防衛局及び総合事務局が続けているところでありますが、その調整内容を聞いたうえで近接する真謝区の皆様及び関係する皆様と話し合いをして地下ダム建設の推進に努力してまいります。

旧軍飛行場用地問題については、本村の旧軍飛行場用地問題地主会で決定されたとおり、団体方式として行政と一体となつて、国・県に要請したところ、特定地域特別振興事業(総事業費：9億3千7百50万円のうち

国・県補助金8億4千3百75万円)が認められ、平成22年度からカーフェリー建造を進めていることは周知の通りであります。

このことは伊江村旧軍飛行場用地問題地主会の皆様の地域振興に対する最大のご配慮のお陰であり、深甚なる感謝を申し上げます。

### (9) 公営企業の充実について

離島の安定した生活基盤を築くには、経済活動を活発ならしめる船舶の航行安全と充実が必要であります。県内では、いち早くカーフェリーを就航させ、ほとんどの離島町村がフェリーを就航させるなど、本村は現離島航路の先がけ的な存在として、県下の離島における海上交通の利便性を高めた事は、周知の通りであります。

村民待望のフェリー「いえしま」に代わる新船建造につきましては、去年9月に入札を行いました。設計等につきましても、微調整を図りながら推進していきます。

新船は、バリアフリー船として村民皆様が使用しやすい船と

して発注され、規模は999トン未満船(現船：553トン)として建造されます。完成引き渡しは平成24年2月末を予定しております。

新船が完成しますと、生産物及び生活資材・建築資材等の輸送など、今後の村勢発展に、大きく寄与するものと期待されます。

また、新船にはフィんスタビライザー(減揺装置)・防振装置(主機・補機)が導入され、これまでになく装備が施された事により、船に振動が少なく、横揺れが非常に少ない快適な船旅が出来る交通機関として利用され、村民のあらゆる活動と活性化に繋がるよう最善を尽くします。

水道事業会計については、周知のとおり本村には河川も少なく、湧き水にも乏しく、自己水確保は天気に大きく左右されるなど、特に、雨が少ない時期には県企業局からの受水に頼らざるを得ない現状にあり、水道事業の運営も大変厳しい状況にあります。また、漏水等で会計を圧迫する要因でありました旅行村から城山浄水場(約3km)

までの送水管敷設工事も完了しております。

平成23年度は、村民並びに利用者皆様の生活保持に関わる良質の飲料水の供給に向け、老朽管改修工事を順次着工出来るよう努めてまいります。又、水道事業の果たす使命を十分認識し、自己水の確保、漏水防止に努め、生活水の「安心・安全」を第一に考え健全運営に努めます。



### (10) 国営・県営事業について

国及び県の支援によって順調に事業が進捗しておりますが、村内にはまだ国・県の直轄事業で整備を要する箇所が数多くありますので今後とも要請を申し上げてまいりたいと思っております。



(9) 伊江島広報

平成23年度の国・県の事業は次のとおりであります。

国営	国営水利事業（地下ダム）	継続	ダム止水壁・用水路工・ファームポンド工
県営	県営治山事業(保安林保育事業)	継続	川平地区・東江上地区
	県営かんがい排水事業	継続	東江上地区・アマギ地区
	県営農地保全整備事業	継続	川平第1地区・第2地区
	伊江港港湾改修事業（通常） "（北振） "（交付金）	継続 新規 新規	伊江港防波堤（南）L=120m 岸壁の嵩上げ L=216m 新フェリーに伴う係船柱・防舷材・船尾岸

(11) 予算概要について

現在、世界経済はかつてと異なり、経済のグローバル化が進み、各国経済が緊密に結びついた今日において、一国だけが、世界経済の影響をまぬがれて成

長を続けられるということとはもはやあり得ません。

このような中、我が国経済も厳しい環境に置かれています。2009年9月に民主党政権に交代してから2年目を迎えて、種々の緊急総合対策等によって景気の悪化にしばらく歯止めが掛かり、全体として緩やかに持ち直しつつあるものの、増大する財政赤字や医療や年金など社会保障問題の自民党政権時代からの課題も山積みしたままである。

国では引き続き事業仕分けが実施されており公共工事においては厳しい反面、地域主権改革を推進する中で現行の補助金、交付金を廃止して一括交付金制度の導入、子育て支援対策並びに各種の無料化などが進められており、自治体負担にどのような状況で波及するか見えないところがあり懸念しているところです。

このような情勢の中にあつて本村の平成23年度の一般会計の当初予算は、伊江島補助飛行場周辺障害防止対策（用水対策1号溜池）事業、堆肥センター整備事業、西小学校・西幼稚園

校舎改築事業の施工、及びカーフェリー建造等により対前年比32.6%増の60億7千9百万円の計上となりました。また本村の特別会計を含めた6会計の合計は86億9千4百万円で対前年予算の比較では35.5%増の22億7千8百万円となり内訳は次のとおりであります。

会計別予算額調書（案）

（単位：千円）

会計別	本年度予算額		前年度予算額	増減	伸率(%)
	予算額	一般会計繰出			
一般会計	6,079,000		4,585,000	1,494,000	32.6
診療所特別会計	165,000	30,000	151,000	14,000	9.3
国民健康保険特別会計	1,024,000	140,207	979,000	45,000	4.6
後期高齢者医療特別会計	56,000	18,129	54,000	2,000	3.7
船舶運航事業会計	1,225,411	756,250	504,573	720,838	142.9
水道事業会計	145,494	1,200	143,331	2,163	1.5
合計	8,694,905	945,786	6,416,904	2,278,001	35.5

4. おわりに

現下の厳しい時代を乗り越え安定した村を築くためには村民と行政及び各団体が一致協力し、深い絆と信頼関係が必要であります。私達行政に携わる者は当然村民の奉仕者として村民が何を求め希望しているかを的確に把握し、知恵を絞り行政を推進しなければなりません。

平成23年度はこれまで国・県並びに各団体と調整をして

まいりました黒糖工場を始め、多くの施設が完成し雇用拡大に繋がるものと思料致します。よってこれまで以上に村民をはじめ議員各位のご協力とご支援を賜り、全職員一丸となつて「互いに支えあい、誇りを持って、豊かな気持ちで暮らしてまいりますので深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の所信の一端とさせていただきます。

平成23年3月8日

伊江村長 大城勝正



# 盲導犬について 知っていますか？

## ■ 盲導犬とは？

盲導犬は、目の見えない人、見えにくい人が街なかを安全に歩けるように、障害物を避けたり、立ち止まって曲がり角を教えたりなど、生活をお手伝いする特別な訓練を受けている「ほじょ犬」です。

## ■ 盲導犬への接し方に気をつけましょう！

盲導犬ユーザーがハーネスをつけた盲導犬を同伴している時、盲導犬は「工作中」です。

- 工作中的の盲導犬には、話しかけたり、じっと見つめたり、勝手に触ったりして気を引く行為をしないようにしましょう。
- 盲導犬に食べ物や水を与えないようにしましょう。  
ユーザーは与える食事の量や水の量、時刻をもとに盲導犬の排泄や健康の管理をしています。



厚生労働省ホームページ ほじょ犬ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/hojoken/index.html>

記事についての問合せ先  
福祉保健課 49-3160

## ■ 盲導犬ユーザーと盲導犬はどこでも一緒にです

「身体障害者補助犬法」により、人が立ち入ることのできるさまざまな場所で受け入れるよう義務づけられています。「犬だから」という理由で受け入れを拒否しないでください。

- 盲導犬の同伴を受け入れる義務があるのは・・・
  - ・ 公共施設・公共交通機関（電車、バス、タクシーなど）
  - ・ 民間施設 商業施設、飲食店、病院、ホテルなど
  - ・ 国や地方公共団体などの事務所、従業員56人以上の民間企業
- 盲導犬の同伴を受け入れる努力をする必要があるのは・・・
  - ・ 従業員56人未満の民間企業
  - ・ 民間住宅

## ■ 盲導犬の受け入れ施設の方へのお願い

- 盲導犬は、ユーザーの指示に従い待機することができるので、特別な設備は必要ありません。
- 盲導犬の同伴を受け入れる際に他のお客様から苦情がある場合は、「身体障害者補助犬法」で受け入れ義務があること、ほじょ犬の行動や健康の管理はユーザーが責任をもって行なっていることを説明し、理解を求めてください。
- 盲導犬が通路をふさいだり、周わりのおいを嗅ぎ回ったり、その他、何か困った行動をしている場合は、そのことを盲導犬ユーザーにはっきり伝えてください。
- 盲導犬を同伴していても、盲導犬ユーザーへの援助が必要な場合があります。盲導犬ユーザーが困っている様子を見かけたら、まずは声をかけたりコミュニケーションをとってください。



# 障害児(者)の歯科治療について

障害があるため日常の歯の健康管理がむずかしく、また意思表示が十分でないため一般の歯科医院での治療が困難な障害児(者)の歯科治療を下記により実施します。

ご希望の方は**4月28日(木)**までに市町村窓口や下記、問い合わせ先までお申込みください。



※全身麻酔下での治療ですので、麻酔治療で体に異常をきたさないかどうか事前に予備検診を行い、対象者を決定いたします。施設に入所している方も受けられます。

※予備検診(5月上旬)⇒本検診(5月中下旬)の2回の検診があります。検診にかかる費用は自己負担になります。

## ＜全身麻酔下歯科治療実施期間等＞

- 期間： 平成23年6月8日(水)～7月6日(水)
- 場所： 県立北部病院
- 対象者： 一般歯科治療が困難な障害児・者(障害の程度は問いません)



◎お問い合わせ 沖縄県福祉保健部 障害保健福祉課 (098)866-2190  
沖縄県歯科医師会立口腔衛生センター (098)879-8350

※治療内容、費用負担等のお問い合わせは、沖縄県歯科医師会立口腔衛生センターまでご連絡ください。

— 伊江村E&Cセンターからのお知らせ！ —

耐久性があり、吸水性が良い



段ボールシュレッダー敷き料  
1個約20kg 250円  
4個から村内どこでも無料配達致します。

農家の皆様、日頃より当センターの敷き料をご利用いただき誠にありがとうございます。

この度、4個以上の敷き料を注文された方へ、敷き料の**無料配達サービス**を開始します。

利用者の方々から『吸水力も良く長持ちする』と好評です。また、段ボールのインク類について、環境分析を行い、家畜や農作物等に影響がない結果もでており、**安心してご利用になれます。**

皆様からのご利用のお電話お待ちしております。

敷き料の利用例



▲菊畑に敷いた例



▲牛舎に敷いた例

お問い合わせ先 伊江村E&Cセンター 50-6550

北部保健所からのお知らせ

# 浄化槽の維持管理をしましょう！

みなさんのご自宅の浄化槽は、きちんと維持管理をしていますか？  
浄化槽は微生物の力で汚れを処理しているので、日頃の維持管理が必要です。  
維持管理をしていない浄化槽は、浄化槽としての本来の機能を発揮できません。  
浄化槽もみなさんの大事な財産です。もう一度、維持管理状況を確認して大事に使用してください！



## 1 保守点検

1年に数回、浄化槽の処理機能を維持させるために行います。(点検回数は浄化槽の種類により異なります。)

- 例) ・消毒剤の補充
- ・汚泥等の調整 など



沖縄県に登録している、**浄化槽保守点検業者**に委託します。(料金は、業者により異なることがあります。事前に見積もりをとることをおすすめします。)

## 2 清掃

1年に1回以上、浄化槽の処理機能を回復させるために行います。

- 例) ・汚泥の汲取り
- ・浄化槽内部の清掃 など



伊江村から許可を受けている、**浄化槽清掃業者**に委託します。(料金は、業者により異なることがあります。事前に見積もりをとることをおすすめします。)

## 3 法定検査

1年に1回、浄化槽の処理機能や設置状況が適正かを確認するために行います(水質検査)。



沖縄県指定検査機関  
沖縄県環境整備協会に依頼します。  
【料金(※20人槽以下の場合)】  
・浄化槽を使い始めて1年以内  
¥8,500  
・浄化槽を使い始めて1年以上  
¥4,200

お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

沖縄県北部保健所 生活環境班 浄化槽担当者 電話 0980-52-2636(直通)

# 乳幼児医療費助成の拡大

伊江村では、これまでの乳幼児医療費助成を平成23年4月1日（診療）から6歳に達した日以後の最初の3月31日までのものへ通院助成を拡大して実施します。

乳幼児医療費助成度は、保護者の経済的負担を軽減し、乳幼児の保健の向上と、健やかな育成に寄与することを目的とするものです。

## ☆対象者☆

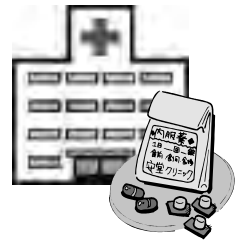
村内に住所を有し、かついずれかの健康保険に加入している乳幼児の保護者（生活保護、他の制度で助成を受けられる人は除く。所得制限あり。）

## ☆助成を受ける期間☆

6歳に達した日以後の最初の3月31日まで

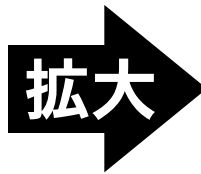
## ☆助成対象☆

保険診療による医療費の自己負担額（家族療養付加金、高額医療費の適用分として払い戻される分と、入院時食事療養費は除く。）



**旧** 平成23年3月31日  
までの診療分

0～2歳児	通院、入院費の助成 (保険適用分の額)
3歳児	通院、入院費の助成 ただし、3歳児の通院は月 1,000円の自己負担があります。
4歳～就学前 (幼稚園)	入院に係る医療費を助成。



**新** 平成23年4月1日  
の診療分から

0歳～就学前 (幼稚園)	通院、入院の助成 (保険適用分の額)
-----------------	-----------------------



## 乳幼児医療費助成金受給資格認定申請書の手続きの仕方

- 手続き場所 伊江村医療保健センター 福祉保健課(診療所3F)
- 必要書類
  1. 健康保険書(保護者、乳幼児の名前が記載されているもの)
  2. 保護者の預金通帳 (JA沖縄伊江支店)
  3. 印鑑 (認印)
  4. 健康保険の資格認定証明書(保険証に資格認定日の表示がない場合のみ)
  5. 所得証明書

※出生・転入の方は、住民課で届け出をしたあと、上記の必要書類持参の上、福祉保健課 (診療所3F) のほうで申請して下さい。



## 乳幼児医療費助成の拡大に伴い 受給者証の切替え及び申請を下記の日程で行います。

平成23年4月1日から、6歳に達した以後の最初の3月31日までの乳幼児に通院助成を拡大して助成します。

**現在0歳～5歳児 (H17.4.2～H18.4.1生) で  
受給者証をお持ちの方 (受給者証持参下さい)**

新しい受給者証の交付時に持参

- ・健康保険証 (変更のある場合のみ持参)
- ・保護者の預金通帳 (変更のある場合のみ持参)
- ※印鑑
- ※所得証明書 (H22年に申請した方は除く)

**0歳～5歳児で  
受給者証をお持ちでない方**

受給者証の申請及び交付時に持参

- ※健康保険証
- ※保護者の預金通帳 (JA伊江支店)
- ※印鑑
- ※所得証明書

※印のついているものは必ず持参して下さい。

受給者証の交付及び申請の日程

平成23年4月5日(火)～4月7日(木)まで  
医療保健センター3階 午前9時～12時・午後1時～5時

－ お問合せ － 福祉保健課 49-2234

# 狂犬病 予防注射

※自分の区の実施日及び実施時間帯で都合の悪い方は、他の区の公民館でも予防注射を受けられます。  
※予防注射は、飼い主の義務です。漏れのないようよろしくお願いいたします。

5月18日(水) 金城動物病院 金城文安先生	
10:00~10:45	真謝区
11:00~11:45	西崎区
13:15~14:00	西江前区
14:15~15:00	川平区

5月19日(木) 動物病院 そらの救急箱 崎浜美香子先生	
10:00~10:45	阿良区
11:00~11:45	東江前区
13:15~14:00	東江上区
14:15~15:00	西江上区

# ペットの エチケット

最近、温かくなったこともあり、犬の散歩も増えてきました。

それと共に路上や公園内にペットのフンも見受けられるようになっております。

犬の散歩時は、エチケット袋を持参し、環境衛生にご協力ください。



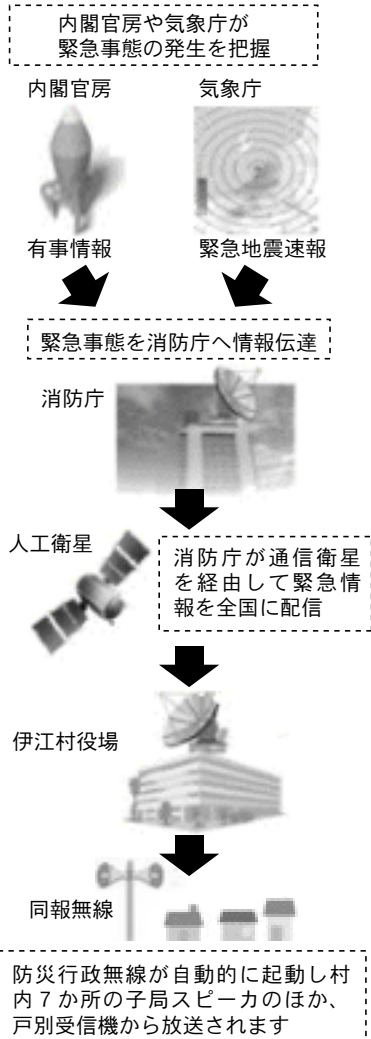
4月1日スタート!!

# J-ALERT

## ■全国瞬時警報システムとは？

緊急地震速報や武力攻撃に関する有事情報など、対処に時間的余裕のない緊急情報が国から人工衛星を介して送信され、これを村が受信し、防災行政無線（同報無線）を自動的に起動することにより、24時間体制で瞬時に緊急情報を村民にお知らせするものです。

## ■警報が放送されるまで



## ■こんなときに警報が放送されます

受信情報	受信情報	放送内容
緊急地震速報 ※推定震度4以上	緊急地震速報 チャイム音	「大地震（おおじしん）です。大地震です。」（×3回）
大津波警報	消防サイレン 3秒吹鳴2秒 休止（×3回）	「大津波警報が発表されました。海岸付近の方は高台に避難して下さい。」（×3回）
津波警報	消防サイレン 5秒吹鳴6秒 休止（×2回）	「津波警報が発表されました。海岸付近の方は高台に避難して下さい。」（×3回）
津波注意報	消防サイレン 10秒吹鳴2秒 休止（×2回）	「津波注意報が発表されました。海岸付近の方は高台に避難して下さい。」（×3回）
弾道ミサイル情報	有事サイレン （14秒）	「ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。当地域に着弾する可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。」
航空攻撃情報	有事サイレン （14秒）	「航空攻撃情報。航空攻撃情報。当地域に航空攻撃の可能性あります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。」（×3回）
ゲリラ・特殊部隊 攻撃情報	有事サイレン （14秒）	「ゲリラ攻撃情報。ゲリラ攻撃情報。当地域にゲリラ攻撃の可能性あります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。」（×3回）
大規模テロ情報	有事サイレン （14秒）	「大規模テロ情報。大規模テロ情報。当地域にテロの危険が及ぶ可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。」（×3回）

※緊急地震速報は大規模地震（震度4以上）が発生した際に、強い揺れを事前にお知らせしますが、震源が近い場合は間に合わないことがあります。

# 新人さん紹介『がんばります!』



## 普及員

高江洲 斉

昭和59年生(26歳)  
沖縄市出身  
◆趣味・特技  
釣り・体を動かすこと

はじめまして。今年度伊江村駐在普及員に任命されました。まだまだ経験の浅い普及員ですが、伊江島の皆様に少しでも貢献できるよう頑張ります!



## 船舶

兼謝名 誠

昭和50年生(35歳)  
西江前区出身  
◆趣味・特技  
スポーツ全般

伊江村と本島をつなぐ船舶船員として頑張ります! 乗船されるお客様の安心と安全を確保できるように一生懸命頑張ります!



## 西崎区長

島袋 勝己

昭和43年生(42歳)  
西江前区出身  
◆趣味・特技  
釣り・釣った魚を調理する。

区民と行政のパイプ役として若い力で頑張ります。



## 役場

知念 俊

昭和63年生(22歳)  
西江上区出身  
◆趣味・特技  
フィッシング・ソフトボール

大学を卒業してまだ一カ月もたたない新人職員ですが、伊江村の更なる地域社会の活性化を目指し頑張っていきたいと思っております! よろしくお祈りいたします!



## 役場

大城 勇樹

昭和57年生(28歳)  
東江前区出身  
◆趣味・特技  
サッカー

建設課への配属となりました。村民の生活向上に尽力し、より住みやすい伊江島を築けるような人材へ成長できるよう頑張ります。皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



## 役場

儀間 徹矢

昭和59年生(26歳)  
東江上区出身  
◆趣味・特技  
バレーボール

総務課への配属となりました。広報の取材等、村民皆様ひとりひとりの声を届ける事のできる職員を目指し頑張ります! 村民皆様、記事投稿依頼等、気軽にお声かけ下さい!



## 役場

東江 真理子

昭和62年生(24歳)  
川平区出身  
◆趣味・特技  
ドライブ・スポーツ観戦

総務課に配属になりました。感謝の気持ちと向上心を大切に一生懸命頑張ります。よろしくお願い致します。



## 役場

知念 悠太

昭和63年生(22歳)  
西江上区出身  
◆趣味・特技  
旅行・マラソン

伊江島に帰ってきて2年がたちました。今年度から福祉保健課に配属され、色々な面で村民の方と関わる仕事だと思っております。村民の方を出迎える時はいつでも笑顔で一生懸命頑張ります!



## 保育士

比嘉 貴恵

昭和58年生(27歳)  
真謝区出身  
◆趣味・特技  
ピアノ・散歩

元気いっぱい子ども達にパワーをもらいながら、楽しく豊かな保育をしていけるよう頑張ります。皆様どうぞよろしくお願い致します。



## 保育士

大城 陽子

昭和58年生(28歳)  
東江上区出身  
◆趣味・特技  
食べること・書道

将来を担う子供達の為に保育士として一生懸命努めさせて頂きます。伸び伸びとした楽しい保育になるよう、先輩方と一緒に頑張りますので宜しくお願い致します。



## 保健師

照屋 美希

平成元年(22歳)  
沖縄市出身  
◆趣味・特技  
ドライブ

はじめまして! 名桜大学を卒業したばかりの新人保健師です。わからないことばかりですが一生懸命頑張りますのでぜひご指導よろしくお願い致します。



## 保健師

屋宜 裕子

昭和63年生(22歳)  
那覇市出身  
◆趣味・特技  
映画鑑賞・買い物

春に大学を卒業した新米保健師です。伊江村のことはわからないことが多いですが、地域の皆様力を借りながら頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

平成23年度		伊江村役場職員人事異動	
(発令：平成23年4月1日付)			
<b>主任</b>	岸本須真子	<b>主任</b>	岸本須真子
<b>主任保育士</b>	宮里 愛子	<b>主任保育士</b>	宮里 愛子
<b>総務課補佐</b>	新城 米広	<b>建設課主査</b>	建設課主査
<b>保健担当</b>	高崎恵津子	<b>福祉保健課主査</b>	福祉保健課主査
<b>福祉保健課補佐</b>	島袋 和枝	<b>企画総務課主査</b>	企画総務課主査
<b>農委事務局長</b>	宮里 政喜	<b>農工観光課主査</b>	農工観光課主査
<b>農林水産課補佐</b>	宮里 政喜	<b>農工観光課主査</b>	農工観光課主査
<b>共同調理場所長</b>	知念 明美	<b>教育行政課補佐</b>	教育行政課補佐
<b>【昇任】</b>		<b>【昇任】</b>	
<b>船長の部</b>	玉城 勝彦	<b>次席船長</b>	次席船長
<b>次席船長</b>	大城 哲	<b>2等航海士</b>	2等航海士
<b>2等航海士</b>	長嶺 九三雄	<b>甲板員</b>	甲板員
<b>補佐・所長</b>		<b>補佐・所長</b>	
<b>【配置換え】</b>		<b>【配置換え】</b>	
<b>総務課</b>	横山 公一	<b>住民課</b>	住民課
<b>政策調整室</b>	浦崎 悟	<b>農林水産課</b>	農林水産課
<b>農林水産課</b>	島袋 英樹	<b>住民課</b>	住民課
<b>住民課</b>	玉城 正朝	<b>農林水産課</b>	農林水産課
<b>教育委員会</b>	富山維子	<b>議事事務局</b>	議事事務局
<b>議事事務局</b>	山城佐百合	<b>福祉保健課</b>	福祉保健課
<b>商工観光課</b>	知念 一史	<b>農林水産課</b>	農林水産課
<b>建設課</b>	島袋 綾	<b>公営企業課</b>	公営企業課
<b>教育委員会</b>	島袋 和代	<b>福祉保健課</b>	福祉保健課
<b>幼稚園教諭</b>	幼稚園教諭	<b>派遣</b>	派遣
<b>企業研修</b>	松本 壮	<b>企業研修</b>	企業研修
<b>伊江物産センター</b>	伊江物産センター	<b>伊江物産センター</b>	伊江物産センター
<b>退職の部</b>		<b>退職の部</b>	
<b>定年退職：上間 健雄</b>	定年退職：上間 健雄	<b>定年退職：上間 健雄</b>	定年退職：上間 健雄
<b>儀保 義信</b>	儀保 義信	<b>儀保 義信</b>	儀保 義信
<b>金城 繁雄</b>	金城 繁雄	<b>金城 繁雄</b>	金城 繁雄
<b>大城 忠蔵</b>	大城 忠蔵	<b>大城 忠蔵</b>	大城 忠蔵
<b>玉城美知代</b>	玉城美知代	<b>玉城美知代</b>	玉城美知代
<b>知念 松枝</b>	知念 松枝	<b>知念 松枝</b>	知念 松枝
<b>勸奨退職：長嶺 照子</b>	勸奨退職：長嶺 照子	<b>勸奨退職：長嶺 照子</b>	勸奨退職：長嶺 照子
<b>古堅 直子</b>	古堅 直子	<b>古堅 直子</b>	古堅 直子
<b>知念レイ子</b>	知念レイ子	<b>知念レイ子</b>	知念レイ子
<b>西江 幸子</b>	西江 幸子	<b>西江 幸子</b>	西江 幸子
<b>主査・主事等</b>		<b>主査・主事等</b>	
<b>【採用】</b>		<b>【採用】</b>	
<b>大城 勇樹</b>	大城 勇樹	<b>建設課</b>	建設課
<b>知念 悠太</b>	知念 悠太	<b>福祉保健課</b>	福祉保健課
<b>知念 俊</b>	知念 俊	<b>政策調整室</b>	政策調整室
<b>儀間 徹矢</b>	儀間 徹矢	<b>総務課</b>	総務課
<b>東江真理子</b>	東江真理子	<b>総務課</b>	総務課
<b>比嘉 貴恵</b>	比嘉 貴恵	<b>福祉保健課</b>	福祉保健課
<b>大城 陽子</b>	大城 陽子	<b>福祉保健課</b>	福祉保健課
<b>屋宜 裕子</b>	屋宜 裕子	<b>福祉保健課</b>	福祉保健課
<b>照屋 光希</b>	照屋 光希	<b>福祉保健課</b>	福祉保健課
<b>兼謝名 誠</b>	兼謝名 誠	<b>公営企業課</b>	公営企業課

# しましまニュース

## 60期生3年ぶり2回目の優勝

第29回伊江中卒各期対抗野球大会が3月20日、村青少年旅行村野球場を主会場に行われました。

今大会は31期生から60期生(92年生まれ)まで、最多の25チームが出場し、級友らとプレーや応援を楽しみました。60期生と56期生との対決となった決勝は、初回56期生が先制しましたが、60期生は3回に同点に追いつき、6回に長打を連発して逆転、2対1で60期生が3年ぶり2回目の優勝を飾りました。

また今年の生年の44期生は残念ながら2回戦で敗退したが、東日本震災への寄付を募り62,170円の寄付を行いました。

最優秀選手賞・野口喜章(60期) 優秀選手賞・大城亮(56期)  
打撃賞①知念慶介(60期) ②友寄翔平(56期)



44期生



60期生

## 西小学校6年生 一年間給食完食達成

西小学校の6年生22名が1年間給食を残さない学級目標を掲げ3月22日小学校最後の給食を食べ終え192日間にわたる挑戦を達成しました。

新学年スタートの際に学級で取り組める目標を決めようと話し合い「作ってくれた人に感謝する気持ちを忘れない」と取り組み始めました。

児童たちは苦手な食材が入った給食でも残さず、子どもたちがお互いに励ましあいながら食べ、クラス一致団結で達成に向け取り組みました。

嘉味田朝佳さんは「もともと好き嫌いが多く大変だったけれど、家でも好き嫌いをしないようにしている。食べることの大切さを学んだ。」との達成を喜びました。



## 我喜屋監督講演会

甲子園で春夏連覇した興南高校野球部の我喜屋優監督を招き、村PTA連絡協議会主催の教育講演会が3月6日、村農村環境改善センターホールで開かれました。

小中学校の野球部員や村民ら約350人が来場し、真剣な表情で聞き入っていました。

講演では「自立への道」と題し、毎朝の日課である散歩を通して四季の変化による木々の成長、身の周りの変化、これら小さなことに気付くことから徹底させたことなどユーモアあふれる語りで会場を沸せました。

参加者からは「日頃の生活での出来事を野球にたとえ、挨拶をキャッチボールのよう投げて返してもらおうという言葉、今日から実践したい。」と話していました。



## 図書1万冊贈呈



出版文化産業振興財団(JPIC)は「ブックリボン」プロジェクトで集まった図書約1万冊を村に寄贈していただきました。2月28日、村役場会議室で図書贈呈式が行われました。

ブックリボンとは「読み終わった本」「本棚に眠っている本」を図書環境の十分でない施設や団体に橋渡しをするプロジェクトで、今回1万冊の図書は村内3学校や保育所、8行政区に配布され幼児・児童生徒をはじめ一般村民へ自由に貸し出されることになります。

大城村長は「村内に書店がないので、これだけの図書贈呈はたいへんありがたい。」と御礼を述べました。

# 満1歳 お誕生日 おめでとう



**阿波根 椎叶(しいか)ちゃん**  
 性別:女の子  
 生年月日:平成22年4月11日生  
 父:阿波根 考尚  
 母:阿波根 美咲  
 行政区:西巧前  
 お兄ちゃんそっくりなしいか。  
 元気な女の子に育つてね!!



**大城 瑠冠(せいか)くん**  
 性別:女  
 生年月日:平成22年4月29日生  
 父:大城 智也  
 母:大城 陽子  
 行政区:東巧上  
 将来は野球選手でーあ! 念願の  
 イーハッチャーデビューありがとう!

## 平成23年 ゆり祭り、ゴールデンウィーク期間中フェリー運航表

4月16日(土)、17日(日)

便	伊江発	本部発
1	8:00	9:00
2	9:00	10:00
3	10:00	11:00
4	11:00	15:00
5	13:00	15:45
6	15:00	17:00
7	16:00	17:20

4月22日(金)、28日(木)

便	伊江発	本部発
1	8:00	9:00
2	10:00	11:00
3	10:35	15:00
4	13:00	16:18
5	13:30	17:00
6	16:00	—

4月25日(月)、26日(火)、27日(水)  
5月2日(月)

便	伊江発	本部発
1	8:00	9:00
2	10:00	11:00
3	10:35	15:00
4	13:00	16:18
5	16:00	17:00

4月23日(土)、24日(日)、29日(金)、30日(土)  
5月1日(日)、3日(火)、4日(水)、5日(木)

便	伊江発	本部発
1	8:00	9:00
2	9:00	10:00
3	10:00	11:00
4	11:00	13:00
5	12:00	15:00
6	13:00	15:50
7	14:00	17:00
8	15:00	17:30
9	16:00	18:30

車両航送のご協力について

1. 車両航送は要予約になります。 2. 航送券は、出航の1時間前から30分前までには購入してください。 3. 航送券購入後は、出航20分前までに、待機所で車両を待機させておいてください。尚、出航20分前までに待機所にいない車両については、スペース待ちの車両を繰り上げて航送しますので注意してください。 4. お帰りの際は、30分前までに、切符売場にて係員の検認を受けてください。 5. 予約後のキャンセルについては、連絡するようお願いしていますが、スペース待ちのお客様についても連絡くださいますようお願いいたします。

お問合わせ先 伊江港 0980-49-2255 (事前予約) 本部港 0980-47-3940 (本部発当日予約)

## 長い間ご苦労さまでした

3月31日付けで、定年・勧奨退職にて上間健雄(公営企業課長)・儀保義信(農林水産課参事)・金城繁雄(船長)・大城忠蔵(共同調理場所長)・玉城美知代(福祉保健課補佐)・知念松枝(企画総務課主査)・長嶺照子(保育所所長)・古堅直子(幼稚園教諭)・知念レイ子(図書館司書)・西江幸子(図書館司書)の皆さんが退職しました。

これまで、各々の立場で地域住民へのサービス向上にご尽力くださいました。



## 御寄付御礼

【人材育成会】

●西江前一八七九番地  
 故 小橋川嘉久 様より  
 母小橋川春枝様の  
 香典返しとして  
 ●東江前四六七番地  
 故 棚原エミ 様より  
 夫 棚原正幸様の  
 香典返しとして

【社会福祉協議会】

●東江前一〇四五番地  
 故 知念正行 様より  
 母知念サチエ様の  
 香典返しとして  
 ●西江前一八七九番地  
 故 小橋川嘉久 様より  
 母小橋川春枝様の  
 香典返しとして  
 ●東江前三九八番地  
 故 知念正典 様より  
 母知念ナツ様の  
 香典返しとして  
 ●東江前四六七番地  
 故 棚原エミ 様より  
 夫 棚原正幸様の  
 香典返しとして

紙面を借りて御礼申し上げます。

7月24日で  
アナログ放送は  
見れなくなります!